

「後方視的観察研究による日本人リンチ症候群の大腸病変に対する消化器内視鏡研究」 に関するお知らせ

1. 研究の対象となる方

当施設において最近約10年間(2009年1月1日~2018年12月31日まで)に大腸内視鏡検査を1回以上行なった患者さんを対象としております。(大腸内視鏡検査の機器および質が現在とほぼ同等と考えられる時期として、この時期を設定)

2. 研究の目的

わが国のリンチ症候群症例における大腸癌・大腸腺腫に対する大腸内視鏡所見の実態を把握することを目的としています。リンチ症候群における大腸内視鏡検査サーベイランスに関して、大腸内視鏡検査の診断や治療技術の進んだわが国からの精度の高い情報を集積・解析し、検討することは、診療の向上に寄与することが期待でき、今後の「遺伝性大腸癌診療ガイドライン」改訂の重要な資料となることが期待されます。

3. 研究期間

研究期間：自機関の長の実施許可日より~2026年12月31日

調査対象期間：2009年1月1日~2018年12月31日

2009年1月1日~2018年12月31日までの症例を用いる

4. 情報の内容

- 1) 登録および施設情報：施設別登録番号、施設名、登録者名。
- 2) 登録参加者情報：生年月、性別、家族歴、遺伝学的検査結果、癌既往歴、生活習慣歴。
- 3) 大腸内視鏡検査情報：検査年月日、施行医情報、使用内視鏡器機。
- 4) 大腸内視鏡検査所見：新規大腸腫病変臨床病理所見。
- 5) 治療所見(内視鏡治療・偶発症、外科手術)

この研究で得られた患者さんの情報は、消化管外科・一般外科において、研究責任者である石田秀行が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

5. 研究者について

研究責任者名：埼玉医科大学総合医療センター

消化管外科・一般外科、ゲノム診療科 教授 石田秀行

当センターでの研究実施者

消化管外科・一般外科	医師	准教授	石橋敬一郎
消化管外科・一般外科、ゲノム診療科	医師	講師	鈴木興秀
消化管外科・一般外科、ゲノム診療科	医師	講師	母里淑子
消化管外科・一般外科	医師	講師	幡野 哲
消化管外科・一般外科	医師	非常勤医師	天野邦彦
消化管外科・一般外科	医師	非常勤医師	近谷賢一

6. お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡を頂いた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

研究責任者：石田秀行

連絡先：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 電話：049-228-3618（平日 9 時～16 時）
埼玉医科大学総合医療センター 消化管外科・一般外科 外来